

平成26年11月定例教育委員会会議録

- 1 期 日 平成26年11月6日(木)
- 2 会 場 南別館3階 委員会室
- 3 開始時間 午後1時30分
- 4 終了時間 午後3時20分
- 5 出席者 小西委員長、中原委員、赤松委員、黒木教育長
その他の出席者
児玉教育部長、杉元教育総務課長、久保田学校教育課長、肥後スポーツ振興課長、月野生涯学習課長、新宮文化財課長、稲吉都城島津邸館長、東教育総務課副課長、岡田教育総務課主幹
- 6 会議録署名委員 赤松委員、中原委員

7 開会

○小西委員長

それでは、ただいまより、11月の定例教育委員会を開催します。ご協力をお願いします。本日は島津委員が欠席です。

8 前会議録の承認

○小西委員長

平成26年10月定例教育委員会の会議録ですが、すでにお手元に届いていたと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

9 会議録署名委員の指名

本日の会議録の署名委員に、都城市教育委員会会議及び選挙等に関する規則第15条の規定により、赤松委員、中原委員をお願いいたします。

10 教育長報告

○教育長

まず、市町村教育委員会関係で、教育長の会議がありました。教育委員会研究協議会が別府市で10月14日から15日に開催されました。その内容は、基調講演がグローバル人材の育成ということで、分科会が3つありまして、第1分科会がグローバル人材の育成、第2分科会が土曜日の活用など学校・家庭・地域が連携した子どもの育成について、第3分科会が全国学力・学習状況調査結果の活用についてで、2日間にわたって行われました。基調講演に関しましては、今進めている英語教育をさらに充実させていくということで、経済がグローバル化している中で、英語で仕事ができる人を増やさなければという基調講演でした。

第2分科会に参加しました。大分県の豊後高田市の取り組み事例で、土曜学習に取り組んでいる地域で、人口が2万人程度の小さな町ですが、大分県の国東半島に位置している町です。昭和の町と銘打ってのまちづくりをされている町です。学びの21

世紀塾ということで、土曜日が休みになることが始まった時から取り組んでいるということです。その時に、非常に危機感があって、塾もなければ何もない田舎の子どもたちが二日間休みになって、果たして大丈夫だろうかと危機意識を持たれて、取り組み始めたものです。最近、盛んに言われている土曜学習から始まったものではなく、保護者や地域の考えが先にあって、学びの21世紀塾というのを市を挙げて取り組んでいます。市民講師を中心にした講座をやって、確かな学力の定着、体作りをやっていくということで、市を挙げての知、徳、体の取り組みです。知である確かな学力については、寺子屋講座があり、第1、第3、第5土曜日に幼、小、中を含めて英会話、国語、算数、数学、英語などの講座をやっていきます。これの講師は元塾の講師だったり、外国で生活した経験のある人だったり、元教師であったり、元市役所の職員であったりです。第2、第4は、徳である豊かな心の育成のわくわく体験活動事業を公民館でやっています。公民館がいろんな体験、経験事業をやっていきます。これらはもちろん任意参加で、全員が参加している訳ではないのですが、百数講座が開催されているようです。パソコン講座は小学生対象にパソコン実習を第1、第3、第5土曜日に行っているようです。水曜日には全中学校1年生を対象に数学、英語の講座が毎週放課後に行われています。夏季冬季休業には中学3年生を対象に塾が無いので、7日間の特別講座を開催しています。幼稚園児対象には、文字や英会話の教室を2回、出前授業でやっているようです。ケーブルテレビを利用して、通信講座のような講座があり、講師は現職の先生ですが、講座のテキストを作っているとのこと。へき地の子どもは街に出ることができないので、ケーブルテレビを利用しています。体はスポーツ少年団の活動をのびのび放課後活用事業ということで、取り入れながら、文化的活動にも取り組んでいるようです。このように知徳体ということで全市を挙げて取り組んだ結果、県内学力テストワースト2位だったのが、8年連続1位だそうです。野球も豊後高田中学校が軟式野球で全国大会優勝をしているとのこと。

都城市では、学校運営協議会単位、中学校区単位でこのような取り組みをやってもらうといいのではないかと思います。

次に、宮崎県都市教育長協議会についてですが、9市の教育長の会議が10月23日、24日にえびの市で行われました。平成27年度の役員改選が行われました。全国都市教育長協議会の理事に宮崎市の二見教育長が、九州都市教育長協議会の理事に宮崎市の二見教育長と小林市の中屋敷教育長、宮崎県都市教育長協議会の会長は宮崎市の二見教育長、副会長に日向市の北村教育長と小林市の中屋敷教育長、監事が西都市の竹之下教育長とえびの市の萩原教育長となりました。来年度の全国都市教育長協議会は5月21日、22日に厚木市で行われます。九州都市教育長協議会は10月15日16日に那覇市で行われます。宮崎県都市教育長協議会は第1回が宮崎市で、第2回が都城市で行われます。平成27年度文教に関する国の施策並びに予算についての陳情を全国都市教育長協議会として行うということです。

次に9月から10月にかけての生徒指導関係の事案は、暴力、恐喝が4件、非行が3件、いじめが3件、不登校が83名でした。

それから、県立きりしま支援学校の文化祭に出席しました。初等、中等、高等部があって、障がいのある子どもたちが発表をしました。きりしま支援学校にいる子ども

達は1人に1人の先生が付いて指導する位の障がいのある子どもがいます。その子ども達が舞台の上でミュージカル仕立ての発表をしました。本当に素晴らしくて、先生も大変だろうなと思いましたが、子どもたちが一緒になって、歌ったり、踊ったりして、自分が興味のあること、修学旅行に行ったことなどを音楽仕立てにして発表しました。初等部には寝たきりの子どももいまして、その子も一緒になって打楽器を演奏して、人間のすばらしさを再認識させられました。教員の指導に対して、子どもたちが対応して生きようとする姿が素晴らしかったです。このようなすばらしさを健常者の子どもたちにも見てもらいたいなと思いました。

○小西委員長

ご質問はございませんか。

11 議事

○小西委員長

それでは、議事に入ります。本日は、報告9件、議案5件です。議案第37号、議案第38号を学校教育課長より説明をお願いします。

※学校教育課長より説明

○小西委員長

質問はないでしょうか。

就学支援を申請されて、受給されている方は何名いらっしゃるのでしょうか。

○学校教育課長

手元に資料がありませんので後ほどお答えします。

○小西委員長

それでは、議案第37号、議案第38号を決定します。

○小西委員長

報告第84号、報告第85号、議案第36号を教育総務課長から説明をお願いします。

※教育総務課長より説明

○小西委員長

質問はないでしょうか。

○教育長

実行委員会は毎年設置することになりますか。

○教育総務課長

実行委員会は今年度だけの設置となります。来年度、講演会を開催しますが、その後は既存の講演会、イベント等を活用していくこととなります。

○教育部長

実行委員会で、具体的な計画を決めていただきますが、実際は実働部隊となっていて、協力をいただき、盛り上げていくこととなります。今年度中に計画をかためて、来年度はPRを進めていくこととなります。実行委員会では、どの団体にどのような協力をいただくかなど、細かな計画を審議していただくこととなります。

○教育長

企画したりするのであれば、名称が実行委員会ではすぐわないのでは。

○小西委員長

報告第85号については、所管業務の内容は分かりましたので、名称を検討ください。報告第84号を承認し、議案第36号を決定します。

○小西委員長

報告第91号と議案第39号を文化財課長から説明をお願いします。

※文化財課長より説明

○小西委員長

寒天工場は誰でも自由に見ることができるようになっているのですか。

○文化財課長

そうです。土地は私有地になっていまして、地元の方が駐車場を整地しまして、便宜を図っています。

○小西委員長

見学者の数とかは把握できないのですか。

○文化財課長

そうです。そばには人家もなく、管理事務所もありません。

○教育長

文化財の修繕は個人の負担となりますか。

○文化財課長

基本的に、文化財の修繕、修復については市の補助金があります。直接的な文化財の修復の場合には補助がありますが、これは付帯施設になりますので自費で行ってもらうこととなります。

○小西委員長

それでは、報告第91号を承認し、議案第39号を決定します。

○小西委員長

報告第92号と議案第40号を都城島津邸館長に説明をお願いします。

※都城島津邸館長より説明

○小西委員長

100円割引の件についてですが、チラシの割引の100円は料金の比率からすると大きいような気がします。チラシで割引があることを知っている人は知っていますが、大体は見落としていますよね。多くの人にこの割引を使ってほしいと考えられているのか、通常料金で入場してほしいと考えられているのでしょうか。これは、1枚で1人だけが対象でしょうか。

○都城島津邸館長

原則としては、1枚1人が適用になりますが、家族で見えた場合は1枚で対応することになります。多くの方に入場してほしいと考えています。

○小西委員長

意外と知られていないので、チラシに割引があることを明示した方が良いのでは。

○都城島津邸館長

小中学校の児童生徒には、これまでの特別展のチラシを配布していましたが、今回は、公立、法人を問わずに、保育所、幼稚園にも配布することにしていきます。

○小西委員長

割引は、入館者を増やすためにしているのであれば、チラシのどこかに表示しないと分からないのではないのでしょうか。

○都城島津邸館長

割引が目的ではなくて、チラシを見て、家族で行こうとかということになることを期待しています。

○小西委員長

前売り券は開館までが割引ですが、これは常時割引になりますよね。50円の割引を100円に変更してほしいということで協議があったのであれば、大きな意味があるのではないのでしょうか。知っている人だけが知っているというのに疑問を感じます。いつもの特別展でこのような割引がありますか。

○都城島津邸館長

ありません。今回だけです。

○教育長

ホームページにチラシ持参の方は割引ありと掲示してありますか。

○都城島津邸館長

いいえ、このチラシを見た方だけを対象にしています。広報して、皆さんが持ってきてしまうと、元から実質300円ということになります。

○小西委員長

前回、中原委員が来場者が多すぎた場合のことを心配されていましたが、そういうこともありますか。

○都城島津邸館長

今回の料金は、資料館、本宅、インタラクティブアートの石蔵を対象にしていますので、今までは資料館だけが混雑していたという状況でしたが、分散して対応できると思っています。

○教育長

混雑した際に対応できる職員を配置できますか。

○都城島津邸館長

石蔵にも配置が必要です。また、12月に2週間程度、交流プラザでデモと言いますか、無料の展示もおこないます。嘱託職員を雇用して対応します。

○小西委員長

各課のプロジェクトにはどう言う課が参加されていますか。

○都城島津邸館長

総合政策部、市民生活部、福祉部、商工政策部、教育委員会ですが、中心は総合政策課、10種年記念事業ですから、秘書広報課が広報、コミュニティ課、生活文化課が各種イベントでのPRをお願いしています。保育課が保育所、幼稚園への広報関係、商工政策課、みやこんじょPR課がイベントのPR、九州管内の営業に回っています。

○中原委員

1万人の動員というのは、期間は90日で換算しますと1日何人というのが見えてきますし、お正月開けること、病院のお見舞いの導線をどう使うかという作戦もあり

ますし、混む日混まない日の人員の配置計画が必要だと思います。園児を呼ぶということですが、インタラクティブアートがメインであれば、専門家がいないと対応が難しい気がします。人員の配置、関係は、1万人の動員を念頭に据えるとプロジェクトチームでの協議が大切になってくると思います。

○小西委員長

美術館の特別展の設定が4000人だと聞いています。

○中原委員

100円の割引よりもテレビコマーシャルを打った方が良いのではと思ったところ
です。

○都城島津邸

UMKの共催という形であれば、2か月間通して、スポットでCMを流してもらえ
ることになっています。

○中原委員

紫舟さんの事務所のフェースブックなどでの発信でファンの方は来られると思いま
すが、連休であったり、年末であったり、石蔵の規模でどう対応できるのか、導線を
どう引くのか、その作戦も立てないといけないのではと思います。多くなりそうな日、
そうでもない日、少ない日と3パターン位作って、人員を配置しないと、石蔵に大勢入
ってしまって、もし事故が起きてしまうこともあり得ます。タッチしたりして動く映
像で、ただ鑑賞するだけではなくて、動くものなので、これも想定しておいた方が良
いのではと思います。

○小西委員長

これはもう決まったことなので、スムーズに運ぶように、各課というところまで広
げて、実際の対応を練っていただきたいと思います。

○教育長

市を挙げてのイベントで、都城島津邸だけではなく、市役所全体できめ細やかな計
画を考えるようにしてもらいたい。都城島津邸の場所を核に市役所全体で10周年記
念を盛り上げるという位置付けにってもらいたい。

○中原委員

合併の時期はどこの市も同時期なので、イベント事の競争ということになります。
都城市は早い取組なので、準備だけはきっちとしておく必要があるのではと思いま
す。
1万人というのは大変な数字だと思います。

○小西委員長

ご質問はございませんか。それでは、報告第92号を承認して、議案第40号を決
定します。

○小西委員長

報告第86号をスポーツ振興課長より説明をお願いします。

※スポーツ振興課長より説明

○教育長

趣旨が事業の内容と合っていないのでは。

○スポーツ振興課長

4年前にスポーツ少年団本部で趣旨、目的を制定しまして、事業を行ってきました。次の本部の役員会で事業にあった趣旨を検討してもらうようお願いします。趣旨の中の文化、芸術、交流活動については、実際取り組んではいます。都城島津邸を見学したり、ケーブルテレビを見学したり、地元の少年団との交流も行っています。スポーツだけの交流だけではなくて。

○小西委員長

スポーツを通して、お互いの芸術、文化を理解するという趣旨ですよ。並列にしないで、スポーツを主に置くといいのでは。

○スポーツ振興課長

スポーツ少年団本部に共催者からの申しれということで検討をお願いします。

○赤松委員

今年は、台湾に行かれるのですか。

○スポーツ振興課長

はい、そのとおりです。

○小西委員長

実績があるのが軟式野球で、登録種目であれば全種目と書いてありますが、今年度は軟式野球が行かれるのですか。

○スポーツ振興課長

最初は軟式野球でしたが、野球だけではなく他の競技にも参加してほしいということで昨年度からこのような内容となっています。

○小西委員長

台湾で試合をされるのですか。21名は1つのチームですか。

○スポーツ振興課長

各小学校の軟式野球の希望者を募っています。昨年度は50名程度行っています。

○小西委員長

希望があれば他の競技があるけれども、野球ということになっているのですか。

○スポーツ振興課長

台湾のスポーツ形態の中で野球が多いということで、受け入れ側の中山小学校も野球を通して交流したいとの強い要望がありますので、現在、他の競技で行くことは今のところないと考えています。

○小西委員長

それでは、報告第86号を承認します。

○小西委員長

報告第87号、報告第88号、報告第89号、報告第90号を生涯学習課長より説明をお願いします。

※生涯学習課長より説明

○小西委員長

質問がございませんか。

○教育長

この計画が、26年も半分以上過ぎています。なぜこのようなことになったのです

か。

○生涯学習課長

25年度の実績が済んでから編集するまでに3,4か月かかります。それと課の職員体制が厳しいところがありまして、大変遅れることとなりました。

○教育長

計画はすでに伝えてありますか。

○生涯学習課長

社会教育委員、公民館運営審議員の人選にも時間を要しまして、3,4か月たってから開催しています。今後これを見直すことも考えています。

○小西委員長

根本的なところからお考えいただいたらいいのではと思います。他にご質問はありませんでしょうか。

それでは、報告第87号、報告第88号、報告第89号、報告第90号を承認します。

○小西委員長

ただいま、配布されましたものが、先ほどの学校教育課の就学支援の件数と認定数です。

12 その他

○12月定例教育委員会日程について

日程 平成26年11月18日(火) 13:30から

会場 委員会室

○市町村教育委員と県教育委員との意見交換会の報告

日時:平成26年10月28日(火) 15:30から

会場:南部教育事務所

出席者:小西委員長、島津委員

テーマ:各市町教育委員会の特色ある取組について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について